

朱崖はるな (パーカッション)

津嘉山 裕 (ピアノ)

山内 裕之 (ギター)

西 窓 子 (歌)

東金 塚 育 祥 (アルトサクソフーン)

川 林 豊 美 (フルート)

大 沼 由 紀 (踊り)

儀 英 三 (ギター)

大沼由紀舞踊公演

「空」

「空」 moku

細胞や組織の異常な配列によって現れた 特殊な木目

規則的な普通の木目と違い、

不規則な、不思議な模様である

2013年 11月2日 (土)

- ◆ 昼公演 14:30開演 (14:00開場)
- ◆ 夜公演 19:00開演 (18:30開場)
- ◆ 場 所 澁谷「アップリンク・ファクトリー」
- ◆ チケット料金 (全席自由) ¥3,800/ペアチケット¥7,000

大沼由紀舞踊公演



大沼 由紀

日本大学芸術学部卒業後、山川三太率いる銀テント「究竟頂」に入団、退団後アスベスト館にて芦川羊子、土方巽の教えを受ける。その後フラメンコに出会い、佐藤佑子に師事。
1992年渡西。マドリ、セビージャ、ヘレスにて研鑽を積み1994年帰国。
1999年東京中野にエストゥディオブレニャ設立。
2004年、2005年、2007年ヘレスよりアーティストを招聘し、大沼由紀舞踊公演“Espontánea”～フラメンコ、自然発生的な～を行う。
(2005年はスペイン舞踊振興マルワ財団の助成作品としての再演)
2007年マドリッドフラメンコフェスティバル“SUMA FLAMENCA”にて
カンタオール瀧本正信、ギタリス俵英三と共に出演。
2011年エッセイ「心と身体を繋ぐ素」を、2013年エッセイ「ゆきがふる」を、月刊Paseoフラメンコに半年間連載。
毎年の渡西を繰り返しながら研鑽を積み、舞踊家としての可能性を探っている。

俵 英三

1982年渡西。以後20年に渡りセビージャ、ヘレスを中心に本場フラメンコの世界で活躍する。
2000年、長年務めたガイド通訳の仕事に終止符を打ち、再びギタリストとして活動を再開。
2002年ヘレスの大舞台フィエスタ・デ・オトーニョ、2003年フェスティバル・デ・ヘレスに
外国人として初めて出演する。
また、エナル・デ・セビージャ、スマ・フラメンカの舞台にも日本人として初めて出演した。
現在は活動拠点を日本に移し、スペインからアーティストを招聘して
踊りの講習会の開催やライブ活動を勢力的に展開している。



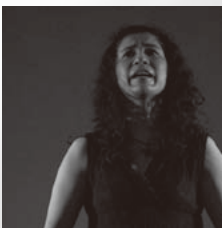
小林 豊美

3歳からピアノ、聴音、りとみっくを、11歳からフルートを始める。16歳の時にジャズに出会い、2003年に洗足学園音楽
大学ジャズコースへ入学。ジャズフルート奏法をBob Zung氏に師事。コード理論、作曲、編曲、和声学、等も学ぶ。
大学在学中から演奏活動をスタートし、2008年には、ボストンにあるパークリー音楽大学でのリサイタルでも演奏。
2012年夏には、ニューヨーク大学で行われたSIM summer programに奨学金を得て参加。これまでの参加作品は
【KENTA TSUGAMI -BOZO&phonolite ensemble-】 上野 まな【Fairies】、ものんくる【飛ぶものたち、這うもの
たち、歌うものたち】等。リーダーとして、1st solo CD「そろそろ」、2nd CD「はなす」をリリースしている。
演奏活動だけでなく、ジャズフルートの啓蒙・後進の育成にも力をいれており、レッスン(フルート奏法、コード理論)に加え、
2012年度より、母校である洗足学園音楽大学にて非常勤講師として、ソルフェージュのクラスを担当している。



西 容子

1999年より瀧本正信にカンテを師事。
スペインアンダルシア地方ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのフラメンコに魅せられ、短期渡西を繰り返す。
名門ルビッチ一家の歌い手、エバ・ルビッチに師事しながら、フラメンコを探求している。
2008年DVD「自宅でクルシージョ7-息づかいを身体へ」(大沼由紀編)に出演。
2012年、師である瀧本氏の選歴ライブ「El viento de Andalucía」において、
ドミンゴ・ルビッチ、エバ・ルビッチとの共演を果たす。



東金城 友洋

1985年12月26日生まれ。沖縄県出身。TVで見たサクソスの演奏に感銘を受け、高校入学と同時に故・ポール石垣氏
にサクソ奏法を師事する。洗足学園音楽大学ジャズコースに入学後、ジャズサクソスを多田誠司氏に師事し、
またジャズ理論、アレンジなどを学ぶ。在学中より、都内、神奈川を中心に活動し、卒業後は、自己のジャズバンド
プロジェクト「Talkin」を結成し都内を中心に演奏活動を続け、2012年3月には沖縄ツアーを行い好評を博す。
他にも川上タカユキサポートや、Tombo Orchestra、WEFUNKなど様々なセッションを重ねる傍ら、
下北沢Colored Jamにてイベント「Talkin' Talkin !!」を主催する。共演者に水谷浩章、岡部洋一、道下和彦、
寺田正敏、ナカムラキラなど(敬称略)櫻倉レオン「Urban Score」レコーディング参加。
オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/talkintalkin/>



朱雀 はるな

神奈川県出身。コンセルヴァトール尚美卒業。
パーカッションを白石啓太氏、日比一宏氏、Giovanni, Hidalgo、等に師事、クラシック、パーカッションを学ぶ。
現在フリーのパーカッションニストとして、ラテン音楽やフラメンコ、様々なジャンルのコンサート、
ライブに出演し、CDやDVDにも多数参加。
パーカッションクラスを神奈川各所、石川県金沢、静岡に持ち、指導にも力を入れている。
また音楽と健康プロジェクトYAMAH公認ヘルスリズムファシリテーターでもあり、
全国各地開催されるプロジェクトに参加。Latin Carnival主催、学校演奏等で各地を回っている。



津嘉山 梢

沖縄うるま市出身。幼少より、父の影響でピアノをはじめ。高校卒業後、神戸の甲陽音楽学院に入学、2006年に卒業。在学中にはボストンのパークリー音楽大学の
奨学金試験をうけ、1万ドルの奨学金を獲得。しかしそのまま関西に残り、プロとして活動を始める。
関西では地元のコンテンポラリージャズビッグバンドであるグローバルジャズオーケストラに所属。
ライブ活動の他、神戸、大阪各地のホテルピアニスト、ブライダルプレーヤーとしても活躍。
現在では活動を東京に移し、オリジナル曲を中心としたライブ活動を精力的に活動中。作曲・音楽理論を
川崎絵都夫氏、作曲を大政直人氏に師事。クラシックピアノを林美希氏、浅野麻耶氏に師事。



山内 裕之

1974年、北海道函館市出身。
10代の頃から編曲・作曲・音響の仕事始める。
2003年、仕事で出会ったフラメンコに魅了されフラメンコギターを始める。
2004年渡西。ヘレスの巨匠、故パリージャ・デ・ヘレス氏に師事。
2008年から拠点を東京に移し、クラブオ、舞台などで活躍中。



音響 山内 裕之
証明 角本 敦
宣伝美術 秋山 薫子

2013年 11月2日(土)

昼公演 14:30開演(14:00開場)

夜公演 19:00開演(18:30開場)

場所 澁谷「アップリンク・ファクトリー」(Bunkamuraより徒歩3分)

Tel. 03-6825-5502 / www.uplink.co.jp 東京都澁谷区甲田川町37-18 ツツネビル1階

